



保健部通信



大阪体育大学浪商中学校

大阪体育大学浪商高等学校

2026年3月発行

「三寒四温」の言葉のとおり最近はやむを得ない暖かい日が多くなり、桜の開花が楽しみな季節となってきました。保護者の皆様には今年度も本校の学校保健活動にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。次年度も子ども達が充実した学校生活を送ることができるように支援していきたいと思っておりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、生徒の皆さんは季節の変わり目のこの時期は花粉の飛散や昼夜の寒暖差で体調を崩しやすい時期でもあります。春休み中も夜更かしや食事抜きをせず、生活リズムを整えて過ごしましょう。

2026年度

健康診断のお知らせ



4月8日(水) 始業式の日、保健調査票を返却します。(新2・3年)

**入学時に記入された記録との変更点があれば、保護者が追記してください。
現在の体調について、問診票の新学年の欄をご記入ください。**

4月13日(月) までに、保健調査票を担任へ再度提出して下さい。

**保健調査票の記録をもとに健康診断を行いますので、
必ず提出期日をお守りください。**

4月15日(水)～16日(木) 健康診断 (なるべく欠席の無いようにお願いします)

(15日は視力検査！普段使いの眼鏡を持ってきてください。)

(16日は歯科検診！歯磨きをしっかりとお願いします。)

トピックス 日本で「はしか(麻疹ウイルス感染症)が再流行の兆しあり」

2月に愛知県の高校ではしかの集団感染があり、学年閉鎖となったニュースをご存じですか。はしかはインフルエンザの約10倍、新型コロナウイルスの約7倍とも言われる強い感染力をもち、空気感染するためマスクや手洗いでは防ぐことができません。該当の高校では3月上旬までに十数人の感染が判明し、生徒の家族や学校に出入りする業者の従業員にも感染が広がっているとのこと。はしかが発生するとニュースになったり感染した人の行動履歴が自治体から公表されたりしますが、その理由は合併症率の高さ(30%)や重篤性、入院率の高さ(40%)から、決して甘く見てはいけない感染症だからです。はしかの初期症状は38℃以上の高熱・咳・鼻水・結膜炎です。その後、口の中に白い斑点(コプリック斑)ができ、全身に発疹が出現します。初期は風邪と似ているため、はしかを疑って受診することは難しいかもしれません。また特効薬はなく、基本的には対症療法を行うしかないので、はしかにかからないため、流行を抑えるためにはワクチン接種が何より重要になります。最近のはしかの増加には、ワクチン接種率の低い年代があることやコロナ以降の海外からの渡航者の増加、自然感染の減少による免疫獲得の機会の減少など複数の要因があります。現在、日本では1歳になった時に1回目、小学校入学前に2回目の定期接種が行われています。大人は年代によって接種回数異なるため、母子手帳などで確認することが推奨されています。

***次年度も安心して部活動に
取り組めるように***

3/5(木)に、高校1・2年生の運動部員対象の心電図検査を実施しました。検査の結果から経過観察や精密検査が必要な人には、春休み中に通知します。異常なしの人には通知はありません。今回の心電図検査を欠席した人は4月に実施します。